

## 議題 1

### 令和 5 年度尾三消防連絡協議会合同訓練 日進消防署訓練実施計画

#### 1 目的

この訓練は、災害発生時に消防団の各分団が連携して安全、確実、迅速に活動できる体制を構築することを目的とする。

#### 2 日時

令和 5 年 1 0 月 1 日（日）午前 9 時から午前 1 0 時 3 0 分まで  
（集合時間 午前 8 時 3 0 分）

#### 3 場所

日進市本郷町宮下 3 番地 日進消防署

#### 4 訓練参加者

##### (1) 日進市消防団

正副団長 3 名、団員 1 6 名程度

4 分団（蟹甲分団、米野木分団、三本木分団、藤枝分団）

##### (2) 日進消防署

警防課第 1 係 8 名

#### 5 訓練項目

(1) 応急手当（A E D ・三角巾）

(2) 簡易搬送用資器材作成及び搬送訓練

(3) 想定訓練（救助・消火）

#### 6 訓練内容

令和 5 年度尾三消防連絡協議会合同訓練 日進消防署訓練実施要綱のとおり

## 令和5年度尾三消防連絡協議会合同訓練 日進消防署訓練実施要綱

### 1 訓練日時

令和5年10月1日（日）午前9時から午前10時30分まで

### 2 訓練項目

#### (1) 応急手当

AEDの使用方法

三角巾を使用して前額部、前腕部、下腿部の被覆処置

#### (2) 簡易搬送用資器材作成及び搬送訓練

簡易担架作成及び簡易担架を使用した搬送訓練

前屈二人搬送及び向かい抱き搬送訓練

#### (3) 想定訓練

##### ア 災害想定

愛知県を中心に震度6強の地震が発生し、広範囲にわたり家屋が倒壊し、負傷者多数、火災が発生している。

##### (ア)【訓練想定（救助）】

消防団は、建物上階に取り残された負傷者に対し応急手当を実施し屋外階段から救出。搬送位置へ収容する。

##### (イ)【訓練想定（消火）】

消防団及び消防署は、建物火災に対し相互協力し放水体制を整え消火活動を実施する。

##### イ 活動内容

##### (ア) 三本木分団【想定訓練（救助）】

進行係員の合図により出場し現場到着。三角巾及び毛布を携行し屋外階段から2階へ進入し救助活動を実施。

負傷者1（訓練人形）の負傷部位（前額部、下腿部）を三角巾で被覆した後、現場で木材を調達し簡易担架を作成し搬送位置へ収容する。

##### (イ) 蟹甲分団【想定訓練（救助）】

進行係員の合図により出場し現場到着。三角巾及び毛布を携行し屋外階段から3階へ進入し救助活動を実施する。

負傷者2（訓練人形）の負傷部位（前額部、前腕部）を三角巾で被覆した後、現場で木材を調達し簡易担架を作成し搬送位置へ収容する。

##### (ウ) 藤枝分団【想定訓練（消火）】

進行係員の合図により出場し現場到着。防火水槽から揚水活動を実施。ホース一線延長。米野木分団へ中継送水を実施する。

(エ) 米野木分団【想定訓練（消火）】

進行係員の合図により出場し現場到着。藤枝分団から中継送水を受け消防署車両へホース一線延長し中継送水を実施する。中継送水完了後、消防署車両から65mmホースを一線延長し、火点を消火する。

(オ) 日進消防署（日進2号車）【想定訓練（消火）】

進行係員の合図により出場し現場到着。積載水により消火活動を実施中、消防団からの中継送水を受け消火活動を実施する。

なお、消防団と相互協力し第二線延長とする。

(4) 訓練スケジュール

別紙1「訓練進行表」のとおり。

(5) 想定訓練役割

別紙2「想定訓練担当表」のとおり。

(6) 想定訓練配置

別紙3「想定訓練（消火）」及び別紙4「想定訓練（救助）」のとおり。

(7) その他

その他の事項については、「令和5年度尾三消防連絡協議会合同訓練実施計画」及び「実施要綱」に基づき実施する。

## 議題 2

### 分団長研修について

～日進市バス等運行管理規程第4条に基づく細則より一部抜粋～  
利用距離については、1日の場合は全行程の距離が200km以内とする。ただし、全行程の5分の4が高速道路等の場合は300km以内とする。1泊2日の利用の場合については、全行程距離が600km以内とする。

#### 片道300km以内の主な消防設備

・モリタ三田工場（兵庫県） 消防車両

→基本的に土日は見学不可。11月25日（土）なら見学可との回答を得たが、避難所開設訓練があるため見送り。

・初田製作所（大阪府） 消火器

→土日祝は見学不可

・シパウラ防災製作所（長野県） 可搬ポンプ

→HP 上に見学案内なし。電話で問い合わせしたところ、見学自体は行えるが今年は諸事情により不可とのこと。

・ヤマトプロテック（大阪府） 消火器

→HP 上に見学案内なし

上記の理由により、現在土日見学可の防災センター・文化財施設等で研修を考えています。今年度は第1回分団長会議で示した通り12月9日、10日で予定しておりますが研修場所、宿泊施設の関係で日付変更がやむを得ない場合がございます。その場合、実施予定の最低でも1カ月前には案内をお出しできるようにいたしますのでよろしくお願い致します。

## 議題 2

### 分団長研修について

～日進市バス等運行管理規程第4条に基づく細則より一部抜粋～  
利用距離については、1日の場合は全行程の距離が200km以内とする。ただし、全行程の5分の4が高速道路等の場合は300km以内とする。1泊2日の利用の場合については、全行程距離が600km以内とする。

#### 片道300km以内の主な消防設備

・モリタ三田工場（兵庫県） 消防車両

→基本的に土日は見学不可。11月25日（土）なら見学可との回答を得たが、避難所開設訓練があるため見送り。

・初田製作所（大阪府） 消火器

→土日祝は見学不可

・シパウラ防災製作所（長野県） 可搬ポンプ

→HP 上に見学案内なし。電話で問い合わせしたところ、見学自体は行えるが今年は諸事情により不可とのこと。

・ヤマトプロテック（大阪府） 消火器

→HP 上に見学案内なし

上記の理由により、現在土日見学可の防災センター・文化財施設等で研修を考えています。今年度は第1回分団長会議で示した通り12月9日、10日で予定しておりますが研修場所、宿泊施設の関係で日付変更がやむを得ない場合がございます。その場合、実施予定の最低でも1カ月前には案内をお出しできるようにいたしますのでよろしくお願い致します。